

DIGI TRUSTFENCE®

SECURE BY DEFAULT



セキュアブート



暗号化ストレージ



ポート保護



コンフィグレーションの
ベストプラクティスとモニタリング

業界唯一のビルトインのデバイスセキュリティフレームワークであるDigi TrustFenceは、Digiのセルラールーター、ゲートウェイ、組込みソリューションを侵入から保護するよう設計されています。



コネクテッドデバイスのための 高性能なセキュリティ

セキュリティは、増得続けるコネクテッドIoTデバイスをサポートするネットワーク設計エンジニアやアーキテクトにとって重大な関心事です。進化するテクノロジーとコネクテッドデバイスの大規模化により、オペレータは重大かつ新たなセキュリティリスクとエンジニアリングの課題にさらされています。リモートやカスタマ先のLTE機器の脆弱性を心配することは、これらの課題の1つではありません。

DigiTrustFence®は、脅威となるベクトルを最小化または排

除するように設計された、テスト済みで文書化されたセキュリティフレームワークを提供します。Digi TrustFenceが組み込まれたコネクテッドDigi製品を配備することで、リモートネットワーク機器やエッジデバイスは負債ではなくセキュリティ資産になることが保証されます。

IoT製品を構築する場合も、プラグアンドプレイのDigiセルラソリューションを配備する場合も、TrustFenceが後押しします。

Digi TrustFenceを利用して、リモート機器をセキュアかつ最新の状態に保ちます。

IDigi TrustFenceは、Digiコネクテッドソリューションのセキュリティフレームワークです。TrustFenceは「多層防御」セキュリティを提供し、既存および将来の脅威を阻止するための堅牢な多層防御を実現します。

Digi TrustFenceのビルトインセキュリティにより、セキュアな接続、認証されたブート、暗号化されたデータストレージ、セキュアなソフトウェアアップデートが可能となり、安全ではない侵入プロトコルはすべて排除されます。

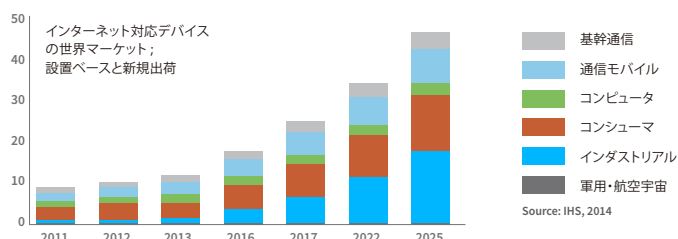
成長するコネクティビティとデバイスセキュリティへの懸念

70%

IoTデバイスの70%が
攻撃に対して脆弱です

出典：HP Security Research

2025年までに非コンシューマ部門がコネクテッドデバイスの大部分を占めるようになると予測



幅広い機能を備えたビルトインセキュリティ

セキュアブート

セキュアブートは、許可されたユーザーのみがデバイスにアクセスでき、認証されたコードのみがデバイスで実行できることを保証する認証機能のセットです。セキュアブートの重要な要素は次のとおりです。

- ・デフォルトのパスワードなし - ハッカーがデバイスの管理者パスワードを推測するのを防ぎます。
- ・認証済みファームウェアのアップグレード - 製造元によって承認されたファームウェアのみを許可します。
- ・外部認証とデバイスID管理 - 証明書管理とセキュアなキーストレージにより、各デバイスはネットワークに参加する前に認証できます。これにより、ユーザーの管理が可能になります。また、パスワードポリシーも可能になり、デバイスとは別に管理するという課題がなくなります。

暗号化ストレージ

機密性の高いキーや設定を暗号化することで、内部データの安全性を確保します。Digiの暗号的にセキュアな疑似乱数ジェネレータ(CSPRNG)は、ランダムソース生成のための専用ハードウェアです。これにより、データが予測不可能な方法で暗号化されデータは予測不可能な方法で暗号化され、これはすべてのセキュリティ運用の要件となります。

ポート保護

すべての内部および外部 I/Oポートは強化され、アクセス制御されているため、不要なローカル侵入を防ぎことができます。Digiは、すべての入力プロトコルと出力プロトコルがセキュアであることを保証します。

コンフィグレーションのベストプラクティスとモニタリング

機密情報を暗号化することで、内部データの安全性を確保します。さらに、Digi TrustFenceには、物理的な侵入から保護するための改ざん防止やデバイス整合性監視、セキュアな接続を実現するエンタープライズレベルのデータ暗号化機能が含まれています。



Digi Remote Manager

Digi Remote Manager®を使用すると、デバイス構成を一元管理し、ファームウェアを更新し、デバイスの動作状態を追跡することができます。デバイスに直接攻撃可能なサービスを持たないデバイス構成を構築することができます。これにより、デバイスに対する外部からの攻撃対象を大幅に減らすことができます。すべての管理通信は、デバイスからDigi RMへ、極めてセキュアで認証された接続を介して開始されます。

ディジ インターナショナル株式会社

www.digi-intl.co.jp

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町22-14 NESビルS棟8F
TEL:03-5428-0261 mail@digi-intl.co.jp

DIGI®

© 1996-2019 Digi International Inc.

●記載した仕様は予告なく変更する場合があります。●記載の社名や製品名は各社の商標または登録商標です。

2020/12 (B3/920)